

## 報告事項 2

### 令和 4 年度事業計画 について

(令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日)

#### 1、事業実施に当たって

- 事業実施に当たっては、当協会事業目的である地域振興や北海道観光振興に貢献するスカイスポーツの振興を図るため、関係自治体、スカイスポーツ団体と連携し、各地域においてスカイスポーツ振興の拠点化を進め、北海道のスカイスポーツネットワークを構築・発展させていくことを目指しております。

- 事業は「イベント交流活動事業」と「啓発普及事業」の 2 本柱とし、「イベント交流活動事業」については、スカイスポーツを見て、触れて、体験できる一大イベントとして当協会事業の核となる「北海道スカイスポーツフェア」を開催します。

「啓発普及事業」については、広く一般にスカイスポーツへの理解と関心を深めるため、広報誌「あえる」の発行、ホームページの活用による啓発、各地で開催されるスカイスポーツイベントへの後援、また、安全対策としての各講習会開催への支援等に努めてまいります。

また、新型コロナウイルスの感染拡大により、令和 2・3 年度におけるほとんどの事業が実施できなかったことから、スカイスポーツへの関心を高めることを目的として、「札幌市駅前通歩行空間（チカホ）」での「展示会」のほか、フェア以外の複数個所において「子供教室」や熱気球の「体験搭乗会」を開催することとします。

- 今年度のフェアは、昨年度開催を計画したものの新型コロナ禍のため開催できなかった農道離着陸場「アップルポート余市」での開催を企画しました。

詳細については別紙企画書のとおりですが、余市町はワイン特区認定に加え余市 IC の供用開始などを機に、地域の特性をいかした余市ブランドの価値向上を図り、隣町仁木町と連携したワインツーリズムプロジェクトを推進するなど、今後更なる発展が期待されています。

アップルポート余市は地元産品による味覚祭開催などで活用されておりますが、近年はスカイダイビングでの体験搭乗を事業として実施するなど、スカイスポーツ関連事業にも活用の幅を広げています。今回のフェアでは、当地で活動中のスカイダイビング事業者とも協調したプログラムでの実施を検討しております。

なお、スカイスポーツの体験が地元のファンはもとよりインバウンド観光にも対応できないか、道内 SS 団体にも協力を呼びかけ、今後ネットワーク化に向けて情報収集を図っていきたいと思っております。

- 事業遂行に当たっては、関係自治体、スカイスポーツ団体との連携・協力を得ながら、予定事業を確実に実施する一方、収支動向を見極めて規模、内容の調整等財務の健全性維持にも努めていくこととします。

#### 2、事業の内容

##### 1. イベント交流活動事業

- (1) 北海道スカイスポーツフェア 9月4日(日) 予定

- 「2022 北海道スカイスポーツフェア in 余市」～ (別紙企画書)

- (2) スカイスポーツ競技会への支援
  - パラグライダー (HOSPA 杯)
  - ラジコン (HOSPA 杯)
- (3) スカイスポーツ団体関係者交流会の開催
  - SS団体他関係者参加 12月上旬予定

## **2. 啓発普及事業**

- (1) 広報誌等の発行による啓発普及
  - あえる (広報誌) 1月発行予定
  - スカイスポーツイベントカレンダー 4月発行予定
- (2) 情報収集提供
  - ホームページの活用  
協会案内 (定款等法人情報の開示)、イベント情報、ガイドブック、広報誌、お知らせ・トピックス等の掲載、リンク集の設定
  - 後援共催事業～依頼に基づき後援・主要イベントへの参加・情報収集
- (3) 体験会の開催
  - パラグライダー無料体験講習会
  - みんなのスカイスポーツ教室、バルーン体験搭乗会
    - ・5月22日 (日) 前田森林公園、前田北小学校
    - ・6月19日 (日) 当麻スカイパーク、当麻町スポーツセンター
    - ・9月4日 (日) アップルポート余市 (フェアの中で実施)
  - スカイスポーツ展示会
    - ・8月7日 (日) 札幌市駅前通歩行空間 (チカホ) 北3条広場
- (4) 安全講習会等の開催・支援
  - 安全講習会・指導者研修会の開催・支援
    - ・グライダー
    - ・ハング・パラグライダー
    - ・マイクロライトプレーン
  - 安全対策検討会の開催  
関係スカイスポーツ団体で安全対策への取組み等の意見・情報交換 12月上旬

## 2022 北海道スカイスポーツフェアイ余市（企画書）案

### 1. 開催趣旨

北海道スカイスポーツフェアは、開催自治体とスカイスポーツ団体が協力して、スカイスポーツの振興を図り、スカイスポーツのネットワークを構築・発展させ、地域の活性化につなげることを主要な目的とし、毎年地域を替えて北海道スカイスポーツ協会主催により実施しています。

余市町はドラマ放映による知名度向上、観光客増など人的交流の増加や、地場ワイン製造の小規模起業推進に加え、余市 IC の供用開始など、他の地域にはないアドバンテージを活かし、ウイスキーやワインなど余市ブランド価値の向上や、隣接の仁木町と連携し「余市・二木ワインツーリズムプロジェクト」を進めるなど、齊藤町長のリーダーシップのもと、地域の特性を活かした観光と農漁業の基盤整備を進めており、今後さらなる地域の発展が期待されているところです。

余市町での開催は今回で4度目の開催となります。フェア会場となる農道離着陸場「アップルポート余市」は広大な敷地を有し、防災・救急基地としての役割を果たすとともに、例年周辺地域や札幌圏から大勢集まる秋の「味覚の祭典」など、人気のイベントを毎年開催しその活用を図って来ましたが、近年はスカイダイビングのタンデム体験搭乗を通年実施するなど、スカイスポーツ関連事業にも活用の幅を広げています。

今回の余市フェアでは、このような当地で活動中のスカイダイビング業者と協調したプログラムができないか現在検討しております。また、今後は道内におけるインバウンド観光の受け入れ態勢の一環として、スカイダイビングのほか、グライダー、バルーンやパラグライダーなど、体験搭乗に関わる関係者と連携したネットワークの構築についても今後の課題と考えております。

### 2. 開催概要

名 称	2022 北海道スカイスポーツフェア イ 余市
テ ー マ	「集まれ 海と空の交わる地 よいち」
日 時	令和4年9月4日（日） 7:00～14:30
場 所	農道離着陸場「アップルポート余市」 余市郡余市町登町742番地9
主 催	公益社団法人北海道スカイスポーツ協会
共 催	余市町
後 援	国土交通省北海道開発局、北海道他
協 賛	各社に依頼
動員目標	3,000人

## 実施内容

- (1) デモフライト  
グライダー、モーターグライダー、マイクロライトプレーン  
モーターパラグライダー、ラジコン、スポーツカイト  
スカイダイビング
- (2) 地上展示  
グライダー、モーターグライダー、マイクロライトプレーン  
モーターパラグライダー、ラジコン、スポーツカイト  
熱気球（バスケット）
- (3) スカイスports教室  
凧作り、紙飛行機、竹とんぼ
- (4) 模擬競技会（SS教室参加者で自作作品による競技会）
  - ① たこ揚げ競技会
  - ② 紙飛行機競技会
  - ③ 竹とんぼ競技会
- (5) 体験会  
熱気球搭乗（係留）、パラグライダーふわり体験、模型飛行機操縦  
スポーツカイト操作、ヘリコプター体験搭乗（有料）
- (6) アトラクション  
郷土芸能、お楽しみ抽選会、模擬競技会開催  
凧揚げ大会 大凧 連凧のデモ揚げ
- (7) グルメ、物販コーナー  
飲食店、物販店